



議会だより

# いせん

リニューアルしました!!

10ページ・11ページにおいて新たに「一般質問の  
追跡調査」や「町民の声」を掲載しています。

第46号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 (有)奄美新生社印刷

4月29日 瀬田海海浜公園にて海開きの様子

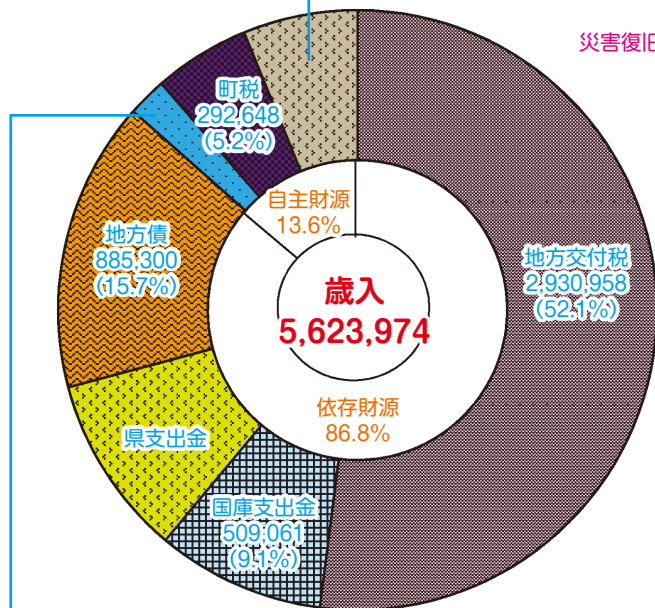
# 平成27年度一般会計予算56億2,397万4千円

(前年度と比較して9.3%の増です。)

## 科目別歳入状況

(単位：千円)

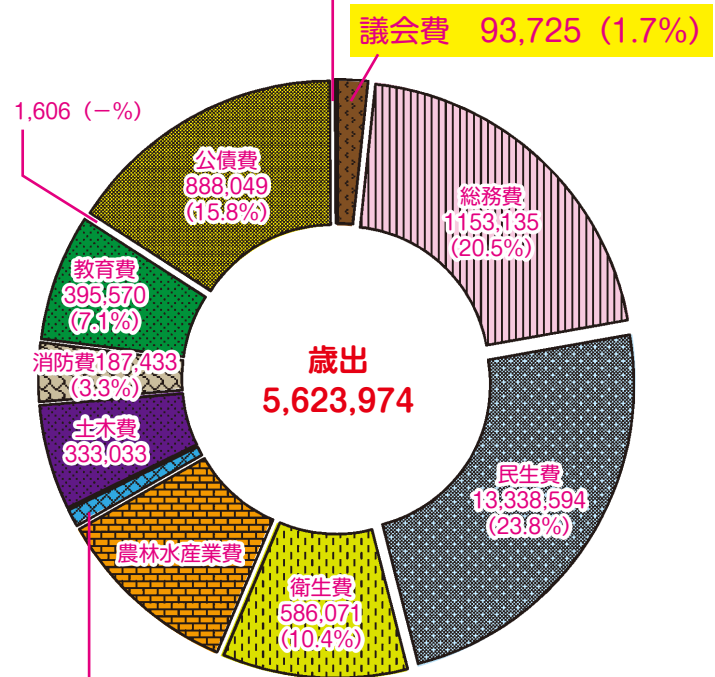
繰入金 156,593 (2.8%) 諸収入 49,463 (0.9%)  
 使用料及び手数料 50,713 (0.9%) 繰越金 1 (―%)  
 分担金及び負担金 58,115 (1.0%) 財産収入 9,148 (0.2%)  
 寄附金 102 (―%)



## 科目別歳出状況

(単位：千円)

諸支出金 1 (―%)  
 予備費 5,000 (0.1%)



地方譲与税 72,673 (1.2%) 地方消費税交付金 47,209 (0.8%)  
 利子割交付金 368 (―%) 自動車取得税交付金 5,600 (0.1%)  
 配当割交付金 293 (―%) 地方特例交付金 221 (―%)  
 株式等譲渡所得割交付金 1 (―%)

## 平成27年度 一般会計歳入歳出予算対前年度比較

(歳入)

(歳出)

(単位：千円, %)

款	平成27年度当初予算額A	構成比%	平成26年度当初予算額A	構成比%	比較 A-B=C	伸率 C/B %	款	平成27年度当初予算額A	構成比%	平成26年度当初予算額A	構成比%	比較 A-B=C	伸率 C/B %
1 町税	292,648	5.2	284,448	5.5	8,200	2.9	1 議会費	93,725	1.7	93,611	1.8	114	0.1
2 地方譲与税	72,673	1.2	75,062	1.4	△ 2,389	△ 3.2	2 総務費	1,153,135	20.5	690,943	13.4	462,192	66.9
3 利子割交付金	368	0.0	368	0.0	0	0.0	3 民生費	1,338,594	23.8	1,367,563	26.6	△ 28,969	△ 2.1
4 配当割交付金	293	0.0	243	0.0	50	20.6	4 衛生費	586,071	10.4	548,713	10.7	37,358	6.8
5 株式等譲渡所得割交付金	1	0.0	1	0.0	0	0.0	5 農林水産業費	583,040	10.4	510,438	9.9	72,602	14.2
6 地方消費税交付金	47,209	0.8	44,412	0.9	2,797	6.3	6 商工費	58,684	1.0	102,085	2.0	△ 43,401	△ 42.5
7 自動車取得税交付金	5,600	0.1	6,100	0.1	△ 500	△ 8.2	7 土木費	333,033	5.9	379,781	7.4	△ 46,748	△ 12.3
8 地方特例交付金	221	0.0	1	0.0	220	22,000.0	8 消防費	187,466	3.3	172,897	3.4	14,569	8.4
9 地方交付税	2,930,958	52.1	2,935,041	57.1	△ 4,083	△ 0.1	9 教育費	395,570	7.1	393,370	7.6	2,200	0.6
10 交通安全対策特別交付金	1,600	0.0	1,600	0.0	0	0.0	10 災害復旧費	1,606	0.0	1,738	0.0	△ 132	△ 7.6
11 分担金及び負担金	58,115	1.0	54,660	1.1	3,455	6.3	11 公債費	888,049	15.8	877,806	17.1	10,243	1.2
12 使用料及び手数料	50,713	0.9	50,125	1.0	588	1.2	12 諸支出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
13 国庫支出金	509,061	9.1	535,447	10.4	△ 26,386	△ 4.9	13 予備費	5,000	0.1	5,000	0.1	0	0.0
14 県支出金	553,907	9.8	492,929	9.6	60,978	12.4							
15 財産収入	9,148	0.2	9,276	0.2	△ 128	△ 1.4							
16 寄附金	102	0.0	102	0.0	0	0.0							
17 繰入金	156,593	2.8	129,317	2.5	27,276	21.1							
18 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0							
19 諸収入	49,463	0.9	44,413	0.9	5,050	11.4							
20 町債	885,300	15.7	480,400	9.3	404,900	84.3							
歳入合計	5,623,974	99.8	5,143,946	100.0	480,028	9.3	歳出合計	5,623,974	100.0	5,143,946	100.0	480,028	9.3

平成27年 第1回伊仙町議会定例会 全議案 (会期3月10日~20日)

議案番号	議案件名	備考
同意第1号	伊仙町教育委員の選任	同意
承認第1号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合の共同処理する事務の変更並びに組合規約の変更	可決
承認第2号	伊仙町税条例の一部を改正する条例	可決
報告第1号	伊仙町第5次総合計画の策定	可決
報告第2号	伊仙町障がい者計画及び第4期障がい福祉計画の策定	可決
報告第3号	伊仙町高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画の策定	可決
陳情第1号	「集団的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回決議」の採択を求める陳情書 (総務文教厚生常任委員会へ付託)	継続審査
議案第1号	伊仙町長期継続契約とする契約を定める条例	原案可決
議案第2号	伊仙町保育の必要性の認定に関する条例	原案可決
議案第3号	伊仙町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る人員及び運営に関する基準を定める条例	原案可決
議案第4号	伊仙町指定介護予防支援等の事業の人員、運営等に関する基準を定める条例	原案可決
議案第5号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例	原案可決
議案第6号	伊仙町長等の給与の特例に関する条例	原案可決
議案第7号	伊仙町行政手続条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第8号	伊仙町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第9号	伊仙町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第10号	伊仙町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第11号	伊仙町観光公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第12号	伊仙町敬老祝金支給条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第13号	伊仙町介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第14号	伊仙町町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第15号	伊仙町歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第16号	伊仙町過疎地域自立促進計画の一部変更	可決
議案第17号	伊仙町有機物供給センターの指定管理者の指定	可決
議案第18号	町道の認定	可決
議案第19号	平成26年度伊仙町一般会計補正予算 (第6号)	原案可決
議案第20号	平成26年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)	原案可決
議案第21号	平成26年度伊仙町介護保険特別会計補正予算 (第3号)	原案可決
議案第22号	平成26年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第3号)	原案可決
議案第23号	平成26年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算 (第5号)	原案可決
議案第24号	平成27年度伊仙町一般会計予算	原案可決
議案第25号	平成27年度伊仙町国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第26号	平成27年度伊仙町介護保険特別会計予算	原案可決
議案第27号	平成27年度伊仙町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第28号	平成27年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算	原案可決
議案第29号	平成27年度伊仙町簡易水道特別会計予算	原案可決
議案第30号	平成27年度伊仙町上水道事業会計予算	原案可決
追加議案		
議案第31号	徳之島愛ランド広域連合規約の経費の支弁の方法に係る同広域連合規約の変更	可決
議案第32号	平成26年度伊仙町一般会計補正予算 (第7号)	原案可決

平成27年 第1回定例会

# 一般質問



平 博人 議員

**公共施設等総合管理計画書を作成し、今後検討**

**答 「社会教育課課長」**

町営プールは平成4年度完成し、現在23年が経過しています。昨年度までは稼

**老朽化した町営プールの再活用**

**問**

伊仙町総合体育館に隣接する旧町営プールが老朽化しており、現在も水を張った状態である。転落防止等の安全性を考慮してのことだとは理解を示すが、公の施設として危機管理はまぬがれません。そこで、このプールを再利用する方策として、用途変更を行い、フットサル・BMX（自転車競技）・スケートボード等の競技場などの若年層の健康増進に役立つ新たな施策として活用する考えはないか問う。

動していましたが、機械の老朽化が激しく、ポンプの修理費用や、その他の機具の交換など、多額の費用がかかります。今後の再利用については、町の公共施設等総合管理計画書を作成し、検討していきたいと思いません。

**議会活動の透明性及び開かれた行政、情報公開**

**問**

平成27年2月19日付けの奄美新聞に、奄美群島12市町村のホームページの中で、伊仙町・天城町・瀬戸内町の3自治体の

み議会専用ホームページが製作されていないと掲載されています。日頃から町民の皆様より、議会活動の透明性について厳しいご意見もいただいております。執行部においても、第5次総合計画の情報発信分野の基本的方針として、開かれた行政、情報公開という方針も立てています。そこで、議会並びに執行部がともに情報発信を円滑に実行するためのの方策として、情報取集から発信に至るまでのフローチャートを策定した上でを行い、さらにこの業務を企画課だけで担当するのではなく、各課の事務分掌に反映させるなど生きた情報をリアルタイムに発信するなど、業務を拡充する考えはないか問う。

**情報発信の充実**

**答**

「企画課長」伊仙町の総合計画においても重点施策として観光情報発信プロジェクトとしての課題、目標等を掲げております。町の情報発信は、ホームページ、または広報などの各媒体を通じて行っております。議会関係においても、議会中継や、議会だ

よりのホームページへの掲載、議会の開催案内等をおこなっており、町内外の方に広く伝えております。

**今後の伊仙町PR活動の充実**

**問**

第5次伊仙町総合計画重点プロジェクト（情報発信）の中で、出生率1位。子宝の町を全国にPRとあるが、どのような形で発信するのか。また27年度は国民文化祭・かごしま2015が開催されるにあたり、伊仙町では闘牛フォーラムを開催するとのことだが、今後どのようなPR活動をしていくのか問う。

**出生率1位長寿・子宝の町を闘牛フォーラム開催PRと共に全国へ情報発信**

**答**

「企画課長・保健福祉課長」子育て支援については保健福祉課管轄の中でホームページ掲載しておりますが、21年度から年度ごとに出生数・支援金等は掲載をしています。今後は、長寿・子宝シンポジウムアンケート掲載等も検討しています。国民文化祭・かごしま2015においては、中央公民館が中心



旧町営プール

となり、文化会の中でパンフレットを3町で作成し、配布している状況であります。今後、出生率日本1位長寿・子宝の町を国民文化祭・かごしま2015闘牛フォーラム開催と共に全国へ情報発信してまいります。



美山 保 議員

**格安航空バナリエアの誘致活動**

**問**

新路線開拓に伴う主要な要請活動について、徳之島全体の活性化を施策として、観光客並びに帰省客の航空運賃の軽減を図ることで、島の発展に寄与することは航空会社の搭乗率で示されているとおり、今後大きく期待されます。しかし、さらなる交流人口増加に資する為には、徳之島3町が連携して航空会社へ要請活動を継続的に行っていくことが重要だと考えます。特に、奄美・成田間を就航しているバナリエアについては、今後の利用率を注視しつつ、徳之島と本土間の新路線を開拓して頂

にPRすることが可能となります。さらに世界自然遺産に登録された暁には、交流人口増加による地域経済への相乗効果が一層高まることを期待されます。そこで、徳之島3町並びに奄美

**徳之島3町で格安航空の要請活動を行う**

**答**

「町長」バナリエア効果、奄美・成田間で同年、同じ時期に比べて約2倍の100%増の状況であります。その効果は、徳之島・奄美便の中にも、現在顕著に現れている状況でございます。このようなことを含めて、今後徳之島3カ町での要請活動は続けて行きたいと思えます。また平成27年度奄美交付金事業では、奄美群島交流需要

喚起特別対策事業として、大都市圏から奄美における移動コストの軽減、入込客の増大、一層の航空会社間競争を通じ、成長サイクルの構築を推進することとなっております。さらに、世界自然遺産の保全と継続的利用を考慮しながら、観光振興を促進させる奄美・琉球世界自然遺産登録観光交流事業も実施される予定となっております。以上の観点から交流人口の増加が予想され、徳之島3町、徳之島空港利用促進協議会と連携を取り、さらに民間融資による徳之島航路運賃対策協議会とも歩調を合わせながら、飛行機のジェット化、新規格線の就航等の要請活動を既存航空会社、格安航空会社に積極的に推進して参りたいと思えます。



格安航空会社「バナリエア」

**ノネコの保護施設、クロウサギの自然保護センター建設**

**問**

ノネコの繁殖が起因しクロウサギの生息数が200頭足らずとの新聞報道がなされてきました。現在そのような被害を防止する為に行政が中心となつてノネコの不妊手術を行っています。その後、野山に帰してしまつと、また被害を及ぼすことも懸念されます。このような悪循環を断ちつつ、住民への自然保護に対する啓発活動の一環として、希少動物の観察を行うことや、琉球・奄美群島の自然遺産登録を見越して、観光客や子どもたちに触れさせるための自然保護センターの建設を、地方創生に関わる交付金を活用して行く旨を国や県に要望は出来ないか問う。

**自然保護センターを整備 国、県に要請**

**答**

「環境課長」昨年から3町で、旧徳之島の漁港跡地を利用して、11月に537匹、今年1月に641匹のノネコを避妊・去勢手術を行っています。

公益財団法人動物基金によるTNR(T・トラップ・捕まえる。N・ニユータン・返す。)事業では、現在町が行っているのは野良猫の部分であり、ノウサギの生息域、山の中にいるノネコに関しては、現在3町の方では対応していませんが、環境省の方では、山の中のノネコと山に帰せないネコは、環境省が対応しています。捕まえたノネコは、山に帰さずに、天城町のクリーンセンターの方で現在飼育を行っています。

**「企画課長」自然保護センターの建設については、環境省において、世界遺産地域の利用に関する拠点施設としては、世界自然遺産の価値についての普及啓発・遺産地域の保全管理・調査研究等の拠点施設として情報の収集と蓄積発信を行う「世界遺産センター」。自然と密接にかかわる暮らし、文化を学ぶ為の案内、解説を担う施設、自然、文化を活用した体験プログラム展開の拠点となる「ビジターセンター」等が予想されております。以上のようなことを鑑み、維持管理費**

や、国・県施設誘致等での経済効果や、交流人口の増加等さまざまな観点から検討し、どういう施設が本町にとつて最善なのか、議会や町民とも検討を重ね、国・県による施設整備を要請して参りたいと思えます。

**豪雨災害による集落排水路の設置**

**問** 昨年の9月議会において、豪雨災害による集落排水路の設置について質問しましたが、その際の答弁では、建設課・耕地課で協議して対応して行くことと答弁されたが、今年も梅雨時期や台風などの影響で土砂が宅地に流出することが想定されるが、なぜ対策を講じないのか、また今後の対応、対策についての見解を問う。

**現在の財政状況から困難**

**答**

「建設課長」26年9月議会でもお答えしましたが、町内各地に排水路が整備されていない道路が数多くあり、また排水路があっても容量が不足して宅地や農地へ流入しているのが現状です。

質問でもありました目手久集落の件につきましては、排水路新設約250m程度が必要で、概算事業費が4000万円ほど必要だと思われまます。また、流末の県道の下流へ側溝があります。幅が70cmしかなく、容量的な問題も不安のところでありまます。

これらのことから、財政的な問題もあり、できるだけ事業費のかからない工法を検討し、将来的に財政が安定すれば、補助事業などを検討しながら、年次的に本格的な排水路工事を行えるかと考えています。

**樟南第二高等学校の支援**

**問**

全国離島唯一の私立高等学校である樟南第二高等学校は昭和41年4月1日に開校し、48年の歳月を経過しています。現在、校舎の建て替え工事を行っており、天城町では、昨年の12月の定例議会において、支援を検討するという方針を示しておりますが、本町において、支援策はあるのかを問う。

**支援を検討**

**答**

「町長」樟南第二高等学校は48年の歴史があり、この間多くの卒業生を輩出してまいりました。全国唯一の離島の私立学校として、今後とも存続は大変重要な意義があると思っております。今後とも、3町でどのような形で支援していくかなどは、検討をしていかねければならないと思っております。

「総務課長」平成26年10月16日に樟南第二高等学校の学園長・校長・副校長が伊仙町に来庁されまして、校舎建築に関する助成金の要望がございましたが、現在の伊仙町の財政面において、非常に困難であると回答してあります。

**町税等の滞納対策**

**問**

徳之島町では、去る2月11日に税金滞納者から差し押さえた物品を入札にかけ売却する公買会を実施しております。これは、徳之島では初めての試みということですが、本町では、滞納者に対して、伊仙町税等の滞納に対する行政サービスの制限措置等に

関する条例に即した制限措置等の実施を行う対策を講じているのかを問う。

**町条例に沿って措置**

**答**

「税務課長」伊仙町は、町営住宅の入居、町有牛の申し込み、認可保育所の入所時に、全額納付もしくは、分納誓約書の提出がない限り行政サービスが受けられない対策等を講じています。

**税の公平性について**

**問**

町民の税の公正、公平な負担等を周知徹底することにより、収納率を上げていくという方針を示しておりますが、具体的にどのような措置を講じていくのか各課に問う。

**答**

「耕地課長」土地改良の分担金が、26年度現在で7000万円弱程度の滞納がございます。これについては従来どおり夜間徴収を行っておりますが、なかなか徴収率の向上には

結びついていないのが現状です。

「建設課長」公営住宅の家賃を集めているわけですが、1月現在を見ますと、昨年の徴収率は96.5%でしたが、昨年度と比べると、1%ほど伸びております。また滞納分においては、昨年の約3%だったのが、6.5%で2倍強に伸びております。保証人への滞納通知や、勤め先の支払い担当の方に給与天引きをお願いできないか相談等もしております。

「水道課」滞納分を中心に徴収率アップのために給水停止などを実施しながら頑張っているところです。滞納分についてはいろいろな問題が多く、徴収率がなかなか上がらないのが、現状



永岡 議員

でございます。27年度からは、これ以上滞納者を増やさないためにも、現年分を中心徴収率アップを図る予定です。現年度分に対しては、納付期限を過ぎると即座に給水停止や、また同時に口座引き落としを進めるなどの対応をとっています。

**「副町長」** 税、その他料金の滞納については、私も思いは持っていました。なかなか遅々として進まないのが現状であり、差押えまで強制執行なりの手続きに至らないのが現実でございます。現実に行ける手段をしっかりと行使していくことについて、職員に対してさらに具体的かつ現実的な対応を求めていると考えております。

の結果並びに来年度以降の開催時期について問う。

**アンケート調査の結果により検討**

**答** 「教育長」 成人式の開催時期については、来年度成人を迎える方の意見を参考にしながら検討していきたいと思っております。

**「社会教育課長」** 成人式アンケート調査による結果を見ますと、1月2日と5日が多いようです。教育委員会としまして、話し合いを持ちまして、もう一度平成28年に成人式を迎える方々にアンケートを取り直して、4月末までには、集計をして決定をしたいと思っております。

**問** 成人式を1月5日に開催することに関して、

新成人の保護者の方々から、仕事や学校の都合により、出席できないとのことのお話がありまして。近年においては、欠席される方が数名見受けられます。そこで、今年開催された本町の成人式で行ったアンケート調査



平成27年 成人式の様子

**伊仙町財務診断結果について**



美島 議員

です。長い時間かけ計画を立てて実行しようとしたら、計画はまとまらず、いろんな固定観念、先入観にとられていくと、硬直した状況になり物事が決まらない。行政経験がない町長と、助役、副町長という形が伊仙町では約30年間続いた異常な状況に反省もしています。

**問** 県の事務担当による伊仙町の財務診断が、平成26年11月19日・20日に実施され、その報告があったが、指摘事項に対しどのような対応をするのか、指摘事項ごとに答弁を求めます。

**答** 「総務課長」 平成27年度の予算編成においては、平成26年度当初予算の90%で予算要求しており、財務診断結果を真摯に受けとめてまいります。

**「町長」** 私は、行き当たりばったりという言葉は好き

**問** すべての事務事業について「年1回1斉」に効果、達成状況、必要性等について点検する事務事業見直しを実施することについてどうするのか問う。

**答** 「総務課長」 平成27年度事務事業についてにおいては、指摘のとおり、点検を実施してまいりたいと思っております。

**「町長」** 政治の役割は、今まで常識的に考えられていたことと職員には判断できない状況が多々あると思います。知恵を出して国・県を説得していき予算獲得に努めてまいります。

**問** 財政運営の状況と将来の見直しについては、

平成29年度に基金が枯渇し、厳しい財政状況となるが、今後の財政運営上、町税、使用料等の値上げや助成金の削減、3役（町長・副町長・教育長）、職員の給与・報酬カットは考えているのか問う。

**答** 「総務課長」 町税、使用料、手数料等の見直しについては、各課へ具体的シミュレーションを実施するよう指示しているところでございます。町民の理解が得られるよう努力してまいります。3役の報酬については、本人の希望により平成26年度の予算においては20%カットで予算措置をしております。

**問** 条例、規則等に基づく事務処理が適正に執行されるよう、全庁的な指導や、研修を実施するようにとの指摘であったが、適正に行われているのか問う。

**答** 「総務課長」 今後、指導事項を詳細に検討し、職員への研修会を実施するなど、適正に事務処理が行われるよう、しっかりと行ってまいりたいと思っております。

いるところ。【副町長】条例、規則等については、適正な執行が必要でございますので、まずは日常的な決裁で指導をしていきたいと思っております。

**問**

財務診断における指摘事項を踏まえて、法令通りの事務事業、事務処理ができていなかったことは町長の責任は重大であるが見解は。

**答**

【町長】私は、当たり前な前例でやってきたつもりでございます。

【副町長】大変貴重な議論ができたと感じております。ある意味、一番大きな成果は、財務診断結果が出たということでございますが、それを議員の皆様にも公開、公表して、議会と一緒に考えていくという足場ができたと思っております。今後は、当然内部的な努力をいたしますが、県の市町村課にお願ひしてフォローアップ的な診断をしていただこうと考えております。

**し尿処理業者との裁判について**

**問** し尿処理業者との裁判で、弁護士委託料が昨

年の12月議会で160万円計上されていたが、裁判の経緯はどうなっているのか問う。

**新規許可申請取り消し**

【環境課長】伊仙町が、一般廃棄物処理計画を定めずに、新規許可を出したことが違法であるとの訴えでした。結果、平成27年2月16日の判決で、伊仙町が一般廃棄物の収集搬送業の許可を出したことは違法であり、取り消しの判決を受けております。

**答** 画を定めずに、新規許可を出したことが違法であるとの訴えでした。結果、平成27年2月16日の判決で、伊仙町が一般廃棄物の収集搬送業の許可を出したことは違法であり、取り消しの判決を受けております。



有機物供給センター

**「国民文化祭・かごしま2015」闘牛フォーラムINとくノしま開催は徳之島の闘牛文化を更に発信するチャンス**

**問** 鹿児島県で初めて「国民文化祭・かごしま2015」が開催され本町では「闘牛フォーラムIN徳之島」が開催されるが、闘牛協会側との線蜜な打ち合わせや、協議を行い徳之島の闘牛文化を更に発信するチャンスとあわせて、今後も闘牛文化を衰退させないよう行政側の支援も必要と考えるが町長の見解を問う。

**答** 【町長】本町での開催日は、10月31日土曜日に開催いたします。午前中は、徳之島交流ひろばホールでシンポジウム闘牛フォーラムを開催します。午後6時から徳之島なくさみ館で、全島中量級・ミニ軽量級優勝旗争奪戦闘牛大会が行われます。実行委員会や企画委員会の中で、シンポジウムに出席する方々の打ち合わせを行い、闘牛

**東部地区の老朽管更新事業を財政的にクリア**

**問** 平成29年度までに、東部地区の老朽管更新事業を終える予定と思いますが、財政的にクリアできるのか。また今年度も1億5600万円も基金を繰入れし、公債費も8億8000万円と上昇している。これを踏まえて、水道料金の見直しを行うとあるが、近隣自治体と比較した結果はどうか問う。

**答** 【水道課長】平成26年度より、東部地区の老朽管更新事業、浄水場建設事業が始まり、平成28年度には完了を予定しております。国庫補助2分の1事業であり、残りは起債で賄うため、町財政は非常に厳しい状況にあります。水道事業は最優先事業と位置付

協会からも委員として参加協力をいただいております。実行委員会からも闘牛協会に支援をいたします。

【町長】平成29年度の簡易水道と上水道事業の合併統合に向けて努力して参ります。水道料金は、徳之島町、天城町と比較すると、ほぼ変わりはありませんが、両町と違い水脈が少なく地下水に頼りがちで、電気料・修繕費等に多額の予算が必要ですので、今後水道料金の見直しは必要だと考えています。

**世界自然遺産登録に向け不法投棄対策を**

**問** 徳之島用水事業の管布設工事や、県道拡幅工事、県営畑総事業のスプリンクラー布設工事などで発生する土砂や石を町外に廃棄しているが、町内で発生した建設副産物は、町内に廃棄場所を指定し、処理す

【町長】本町での開催日は、10月31日土曜日に開催いたします。午前中は、徳之島交流ひろばホールでシンポジウム闘牛フォーラムを開催します。午後6時から徳之島なくさみ館で、全島中量級・ミニ軽量級優勝旗争奪戦闘牛大会が行われます。実行委員会や企画委員会の中で、シンポジウムに出席する方々の打ち合わせを行い、闘牛



議員 徳久 牧



べきだと考えるが、関係機関への働きかけはできないか問う。

**徳之島地区建設副産物対策連絡会議への提案**

**答** 「耕地課長・建設課長」徳之島用水事業の工事につきましては、工場に係る運搬費縮減のため、工事施工箇所の近隣地を条件に、その発生土を運搬するために10tダンプが安全に侵入し得る箇所を選定。県の農村整備課も、おおむね同じような見解でありました。県道拡幅工事に伴う発生土砂はなるべく現場内で有効利用し、搬出の抑制に努めている。他の地区へ流用する場合は、年2回開催される徳之島地区建設副産物対策連絡協議会において、関係機関と調整した上で流用先を選定。建設発生土の有効活用を図っているということでありました。

**さとうきび生産農家の生産意欲高揚を**

**問** 基幹作物である、さとうきびの増産に対し、昨年度は国の増産基金事業を導入し、種苗・堆肥・肥料等を3分の2補助すると

いう形で行った結果、さとうきび生産農家は、生産意欲が高揚し、さとうきび増産につながっている。この効果を踏まえて次年度以降も農家に直接恩恵のある事業を継続できないか問う。

**増産基金事業を継続要望**

**答** 「経済課長」近年の台風や害虫被害により、生産量・生産額ともに減少し、農家の生産意欲が低下する中、増産基金事業を活用し、面積、生産量増加に取り組んでいるところ

です。特に平成26年度においては、植え付け資材、肥料等の3分の2を助成し、また経営が厳しい生産農家にとっては、経費の削減が図られたのに加え、安定生産のため引き続き平成27年度においても継続要望を積極的に推進していきたいとおもいます。

**前泊漁港を緊急避難港として指定**

**問** 政府が進める「まち・ひと・しごと地方創生総合戦略」の策定にあたっては、唯一伊仙町にある前泊漁港の未整備箇所を整備することを盛り込み、悪天

候時に備えた対策として前泊漁港を漁船の緊急避難港として指定する考えはないか問う。

**長期的な整備を検討する余地はある**

**答** 「建設課長」地方創生総合戦略はソフト事業的なものが主で、もしハード事業が採択されたとしても今の起債事業と同じである。緊急避難港は県内でも大泊港と古仁屋港しかなく、指定するにはさまざまな条件があるということ

です。前泊港の未だ整備されていない中間部分においては、毎回指摘を受けていますが、財政状況を見極めながら財政が好転してからも一度検討して参りたいと思います。



前泊漁港

**環境浄化と安全対策について早急な改善を**

**問** 町道西朝戸具線の排水路は、昭和50年ごろに建設され、築40年近くが経過し、老朽化がひどく一部区間はコンクリート壁が決壊し、使用不能寸前の

状況です。また、排水路には蓋板が設置されていないため、衛生的にも非常に悪い状態にあります。この路線は中伊仙集落の主要道路であり、児童生徒の通学路にもなっているため、環境浄化と安全対策の観点からも早急な改善が必要だと思われま

す。本年度から始まる第5次総合計画では、平成30年度に事業計画となっているが、危険度を再確認の上、前倒しで事業を実施し、地域住民の不安解消はできないのか問う。

**第5次総合計画において現地調査をした上で計画を**

**答** 「総務課長」

現在の財政状況を考えると第5次総合計画を前倒しで実施するのは厳しいと



上木 千恵造 議員



排水路のコンクリート壁が一部決壊

思います。現地を再確認の上、本格的な補助事業として実施しなければならぬのか、また随意契約程度の賃金や材料費等でできないのかしつかり調査をし、どう対応していくのか庁舎内で決定していきたいと思



## どうなった？ あの一般質問の行方は…

平成26年に行われた定例会で通告された一般質問を追跡調査し、随時掲載して参ります。

- まず初めに平成26年通告された一般質問は、重複もありますが、149項目ありました。

内訳

第1回定例会	6名	53項目	第2回定例会	6名	30項目		
第3回定例会	5名	33項目	第4回定例会	6名	33項目	計	149項目



- 149項目の進捗状況を「○△×」で評価し、進捗状況率を出してみました。

（○：改善もしくは完了済 △：計画策定済 ×：未着手及び進展なし）

○→70項目 47% △→67項目 45% ×→12項目 8%

※このような結果となりました。

- 次に、分野（課）ごとに分けてみると

- ① 教育（社会教育課・教育委員会など）分野17項目 観光（企画課など）分野31項目
- ② 財政（総務課など）分野40項目 租税（水道料・税務課・保健福祉課など）分野4項目
- ③ 環境衛生（水道課・環境課など）分野7項目 建設（建設課など）分野17項目
- ④ 農業（耕地課・経済課など）分野33項目

※このような結果となりました。財政分野はもちろん本町の主幹産業である農業についての質問が多いようです。

- 今回は①である、教育分野と観光分野について、追跡してみたいと思います。

※一部を掲載しています。その他の調査結果は、町ホームページ→暮らし情報→議会事務局の中に掲載しております。

1. 前祝いや熱狂的に太鼓やラッパ、指笛を鳴らし、手舞い・足舞いを演じる光景は、400年以上も続く徳之島の闘牛が、全国の闘牛開催地（7県9自治体）のなかでも特長があり、「日本一」と思われますが、この伝統・文化を後世へ継承するために各町の文化財指定にするよう徳之島闘牛連合会から要望されているが、その後どうなっているのか問う。（第1回定例会 牧議員の一般質問）

↓（その後）

平成26年5月1日より、闘牛文化「牛なくさみ」として伊仙町無形文化財に指定されました。

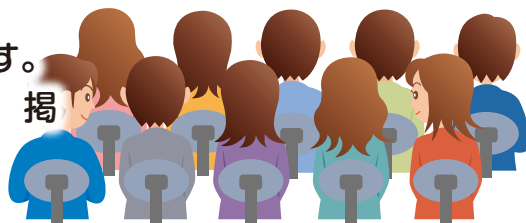
2. 町長は、「子宝の町」「長寿の町」を宣言しており、空港も「徳之島子宝空港」になりました。このことについて、出生率日本一を誇示するためにも、子育て支援に力を入れてほしいとの町民の声があります。これに伴い義務教育にも、更に力を入れる必要はないか。また、里親制度について、どのような考えをもっているのか町長の見解を求める。（第3回定例会 美島議員の一般質問）

↓（その後）

平成27年度4月より、「ふるさと留学制度」を実施。

このように、分野ごとに掲載して参りたいと思います。

次回は、②財政分野と租税分野について調査を行い、掲載して参りたいと思います。





あなたの声が  
地域を変える

# 町民の 声



伊仙町役場 松岡由紀さん 東京都出身  
(インタビュー者：牧 徳久議員)

## 声

### 伊仙町に暮らして感じること

- 「泉重千代翁と闘牛」程度の認識で、初めて徳之島に足を踏み入れてかれこれ12年。伊仙町に移住して10年目を迎えますが、最初感じた直感通り、今の日本の置かれた状況や課題に対して、伊仙町が最先端の地となりつつあることを肌で感じます。
- 生活者としては、島の方々の懐の深さや暮らしの知恵に、家族共々生かされ、学ばせてもらっていると感じています。

## 声

### 伊仙町をPRするために必要と感ずること

- 歴史・自然環境・長寿・子宝・闘牛など、世界レベルでPR出来る要素はいくつもあり、他の市町村と比較すれば、際立った強みを持った地域だと思います。
- 発信する側の意識が、内側の常識をなかなか打ち破れずに、発信する対象や目線が内向き過ぎることが課題だと思います。
- 伝えたい相手は島の人なのか、同郷の人なのか、日本人なのか、世界なのか、そこを明確にして発信手段を変化させる必要があると思います。

## 声

### 伊仙町議会に対しての要望など

- ネット中継も始まり、情報開示も進み、以前より身近になった印象があります。
- 国全体の問題でもありますが、人口の半分を占め、子育てや家庭生活を主に担う女性の声を、どのように反映するか、そこは課題だと思います。
- 子供議会も含め、質疑のなされた事柄のその後の検証をフィードバックしてもらえると、議会に対する町民の関心も高まると思います。

## 声

### 今後の伊仙町に期待すること

- 時代は巡り、都市に追いつけ追いつけの精神はもう不要だと思います。伊仙の強みを意識するには、住民の地域に対する誇りが必要であり、そのためには、もっともっと伊仙のこと、徳之島のことを知るのがベストです。
- その上でPRの項でも書いたような具体的特性を施策に生かしつつ発信してほしい。
- 数字としての子宝は実証されています。これからは子供達への教育の質を高める必要があるのでは？

## 声

### 一言

地方創生の掛け声のもと、伊仙町の子宝の実態や施策は国からも注目を浴びています。子宝は、これからも伊仙町の大きな看板になると感じつつ、子供を学校へ送るようになってから、親として子供達の学習や生活へ、どこまで目が届いているか、不安を感じる場面も経験しています。

徳之島での子育てのし易さは抜群です。あとは高い見識を持った大人になるための深い教養を、島に居ながらにしてどのように習得するか、そんなことを日々考えています。

今回は育休中の一町民の立場で書かせて頂きました。来年職場に復帰後は、自らここに書いたことを率先して実践する側に戻りますので、その際には宜しくお願いします。



## インタビュー 「町民の一言いわせて」募集

このように広報委員会において「町民の声」としてインタビューを行って参ります。

インタビューの内容においては様々です。

掲載を希望する方がいらっしゃいましたら、次回担当であります福留議員もしくは議会事務局まで御連絡下さい。



## 徳之島3カ町議員初の合同奉仕作業

4月7に行われた「戦艦大和を旗艦とする特攻艦隊戦没将士慰霊祭」を前に、4月2日に徳之島3カ町議会議員連絡協議会活動の一環として「3カ町合同ボランティア」の提案から、初の取り組みで犬田布岬の美化奉仕作業が行われました。

「島は一つ」として3カ町一体となって取り組むことが重要であり、今後も、各町の主要催事などに持ち回りで活動をしていきたいと思えます。



## 議会の動き

- 1月 .....
- 5日 成人式 (ほーらい館)
  - 20日 正副議長研修会 (奄美会館2階中会議室)
  - 16日 全員協議会 (議会委員会室)
  - 23日 徳之島3カ町議会議員連絡協議会役員会へ議長が出席 (伊仙町議会委員会室)

- 2月 .....
- 2日 春植え出発式に議長が出席 (役場前)
  - 2日 第5次伊仙町総合計画策定委員会に議長が出席 (中央公民館ホール)

- 4日 地方創生に関する講演会に議長が出席 (ほーらい館)
- 6日 徳之島3カ町議会議員大会 (ほーらい館)
- 13日 全員協議会 (議会委員会室)
- 17日 第66回定期総会 (ホテルウェルビューかごしま)
- 26日 奄美群島広域事務組合他議会議長合同会に議長が出席 (奄美市)
- 27日 伊仙町水道運営審議会に議長が出席 (選挙管理委員会会議室)

- 3月 .....
- 1日 樟南第二高等学校卒業式に議長が出席 (天城町)
  - 2日 平成27年 第1回伊仙町議会定例会告示
  - 4日 議会運営委員会に議長が出席 (議会委員会室)
  - 10日 平成27年第1回伊仙町議会定例会

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

## 編集後記

町民の皆様、毎日お疲れさまです。  
多忙を極めた、さとうきびの収穫やバレイシヨの掘取り作業も終了し、一息ついている所かと推察申し上げます。

幸いにして、今年は徳之島ブランドである「赤土バレイシヨ」が高値で推移し、農家の皆様方にとっては、安堵感がありました。4月から新年度がスタートし、一方では諸物価の値上げや各種保険料などの上昇に伴い、家計は、一層厳しいものがあります。町財政も厳しいさが増し、硬直化する中、超高齢化社会と人口減少問題を克服すべく、国が推進する「地方創生」を最大限活用し、合計特殊出生率2.81%と日本一を誇る伊仙町が日本のモデル地区として更に発展する事が望ましい姿であります。

さて今年には戦後70周年という節目の年にあたります。唯一、我が町では、犬田布岬に慰霊塔を建立以来、「戦艦大和を旗艦とする特攻艦隊戦没将士慰霊祭」を毎年、挙行し戦没者の英霊を慰め、二度と起こしてはならないあの悲惨な戦争体験を後世に語り継ぎ、恒久平和を希求するとともに、ご冥福を祈っているところです。

最後になりましたが、この「議会だより」も全編集委員のご協力で日々研鑽を重ね、発刊のたびに充実して参りました。町民が読みやすく、分りやすい紙面構成にしていきたいと考えていますので、今後とも暖かいご理解とご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。編集後記とさせていただきます。

(文責 牧 徳久)

議会広報編集委員会

- 委員長 牧 徳久
- 副委員長 福留 達也
- 委員 美山 保
- 委員 平 博人
- 委員 永岡 良一